

メディカルガイド発刊に寄せて

一般社団法人 苫小牧歯科医師会 会長 牛丸 智恵

苫小牧歯科医師会は、昭和23年に創立され、今年で70年目を迎えます。

苫小牧市、白老町、厚真町、むかわ町、安平町の約111名の歯科医師により構成されており、地域の皆様の口腔の保健、医療を担うべく日々新しい歯科医学の習得と研鑽に努めています。また、苫小牧歯科医師会が窓口となり行政と協力し、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、平成28年からは歯周病検診、後期高齢者歯科健康診査等の健診、加えて赤ちゃん教室、母親教室、幼稚園、小学校におけるむし歯予防教室、市民の歯の健康教室等のほか、休日診療、訪問歯科診療、介護認定審査等の活動を行っています。

そして、平成27年から市内小学校全てでフッ化物洗口を開始し、むし歯予防を実践しています。当会会員は、分担した小学校に出向き、児童のフッ化物洗口の見守り等を行い、現在も協力しています。今年度からは、幼児期のフッ化物洗口推進を求めた苫小牧歯科医師会の要望が実現して市内すべての幼稚園と保育園の年長児を対象に、フッ化物洗口が導入されました。

さらに今後においては、平成29年4月3日に苫小牧市医師会館3階に創設された「とまこまい医療介護連携センター」の活動が円滑に推進されるべく苫小牧市医師会、苫小牧薬剤師会、苫小牧地域訪問看護ステーション等と連携をはかり訪問歯科診療の提供に努めたいと思います。

最近、糖尿病、認知症等全身の健康と、口腔の健康の関係を示すデータから、口腔の健康と全身の健康は密接に関連しており、歯科医療によって、糖尿病、認知症を含めたさまざまな疾病のリスクを抑制できることが明らかになってきました。超高齢社会において「フレイル」の予防は重要であり、苫小牧歯科医師会はこれからも引き続き「食力(食べる力)」を保つことで、皆様の健康寿命を延ばす努力をして参ります。

●歯っぴいフェスタ

歯と口の健康週間におけるイベントとして毎年6月第1日曜日に開催。歯科検診、歯磨き指導、フッ化物塗布を実施。同時に石膏模型の「色塗り遊び」、衛生士学校の学生による「歯と口に関するペーパーシアター」、苫小牧市内の小学生による「歯と口の健康に関する図画ポスターコンクール」作品展示が行われる。



●8020表彰式

80歳以上で20本以上自分の歯がある方を対象として表彰を行っている。苫小牧市長や胆振総合振興局長など来賓とともに、苫小牧歯科医師会会長より表彰状と記念品の授与を行っている。(写真は2017年の式典の様様)

